

「今週の1枚」



フクジュソウ（キンポウゲ科）

日本、アジア大陸東部の冷温帯夏緑樹林の林床に生育し、早春に咲く多年生草本。夏緑（冬季落葉）樹林の林床では、春先の一時期に明るさと気温が植物の生育に適する状態になる。フクジュソウやカタクリはこの短い期間に開花、光合成、結実を完了させることができる。日当りの良い草地でも、定期的な草刈りによって競争相手の生育が抑えられると、林床と同じように生育の機会がある。西日本での生育地は少ないが、大豊町の南大王では大きな群落が維持されている。（埴田）

（No.89 2003.2.24 掲載）

Adonis amurensis Regel et Radde (*Ranunculaceae*)

Perennial herb, growing in the forest floor of summer green forest and periodically mowed sunny meadow, in cool-temperate zone.